

事業番号

0231

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学図書館の改善等	担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～平成22年度	担当課室	情報課学術基盤整備室	学術基盤整備室長 鈴木達也			
会計区分	一般会計	施策名	IX-1 学術研究の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	学術情報基盤(大学図書館等)の現状を明らかにし、その整備改善を図り、学術情報流通体制の強化・高度化を推進する。 国公立大学における学術情報基盤の実態を網羅的、総合的に把握・分析することにより、文部科学省における政策形成の基礎資料等となるほか、大学においても他大学の動向把握や比較による自らの情報環境の改善等に活用。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	大学の教育研究活動を支える重要な基盤である大学図書館等の現状を総合的に明らかにするほか、大学図書館等の機能向上及び整備改善の基礎資料とするための調査を実施する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	1.3	1.1	1.1	—	—
		繰越し等	0	0	0	—	—
		計	0	0	0	—	—
	執行額		2.0	2.4	1.5	—	—
	執行率(%)		153.8	218.2	136.4	—	—
	成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度
調査等による実態把握の事業であるため、それが、どれだけ学術研究の振興に貢献できたかについて、成果の達成度を数値で定量的に示すことは困難。		成果実績	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査結果を報告書として印刷		活動実績 (当初見込み)	件	1	1	1 () ()
単位当たり コスト	1.5(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト = 執行額(1.5百万円)/報告書印刷(1件)			
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計	—	—				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。 ・事業の実施に当たっては、大学図書館等の学術情報基盤の整備改善を図り学術情報流通体制の強化・高度化を推進するという業務の専門性を踏まえ、外部専門家の活用を図ることとし、多くの競争参加者を得るよう仕様書を工夫する等によりさらに競争性を導入することを検討すべきである。 ・予算額を上回る執行が行われているが、これは、①コンピュータの高度化や、学術情報の電子化の進展による教育研究活動の態様の著しい変容、国立大学法人化等、学術情報基盤を取り巻く状況が急速かつ大きく変化していること、②これら社会状況の変化に迅速・的確に対応した学術情報基盤の改善・整備を図るため、幅広く有識者の参加を得た検討会等を適時に実施し、早急に結論を得る必要があったこと、によるものであり、その在り方を検討することが必要であったものである。 ・科学技術・学術に関する情報基盤の高度化に向けた事業は本事業以外にも存在していたことから、いったん廃止し、「科学研 究情報発信基盤の強化」に整理統合した。		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

A.文部科学省
1.5百万円

庁費	0.5百万円
職員旅費	0.4百万円
委員等旅費	0.4百万円
諸謝金	0.2百万円

事業概要：
学術情報基盤実態調
査の実施等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.文部科学省			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	庁費	学術情報流通に関する印刷費等	0.5			
	職員旅費	大学図書館の改善に関する会議への 出席旅費等	0.4			
	委員等旅費	大学図書館の改善に関する会議への 出席旅費等	0.4			
	諸謝金	大学図書館の改善に関する会議の開 催謝金等	0.2			
	計		1.5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0